

1. 事業の位置付け

事務事業名	保育所ふれあい交流推進事業		
事業担当	健康・こども部 こども家庭課		
予算科目	01-030201-030000	事業種類	○ ハード ● ソフト
総合計画の位置付け	02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	01	①〈地域力〉 地域組織や市民活動の力を育て、まちづくりに活かす	
	03	3 地域社会で家庭や地域の子育てする力を高める	
根拠法令等			
対象・受益者	入所児童、地域住民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： 民間保育園 】		
目的・目標		事業の概要	
地域ぐるみの交流を通して、児童のお年寄りへの「いたわり」や「思いやり」の心を育て、社会性を養うとともに、地域の子育てが支えられています。		保育所の持つ地域性を活用し、児童の思いやりを持つ心や社会性を養い、生きる力を培うため、世代間交流事業、異年齢児交流事業、自然体験活動などを実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	実施保育所数						単位	園
	説明・算定式	延べ実施保育所数							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			36	36	37			
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
成果指標①	指標名	交流事業数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			2,000	2,200	2,400			
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
子育て家庭交流事業、世代間等交流事業、異年齢児交流事業、育児講座等を実施したことにより、交流事業数の増加が図られた。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	児童の思いやりを持つ心や社会性を養い、生きる力を培うために必要性は高い	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	保育園が行う子育て家庭交流等は、入所児童の思いやりを持つ心や社会性を養い、生きる力を培うのに有効である。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	事業が適切に実施され、入所児童の思いやりを持つ心や社会性を養われ、生きる力が培われ、事業目的を達成するのに妥当である。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	事業内容等を検討し、更に効率性を高めていく。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析		地域の子育て家庭や小中高生、お年寄りなどによる地域ぐるみの交流等を通じて、地域の子育て力を高めていく。		

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				子育て家庭交流、 中高生との体験交流 など	子育て家庭交流、 中高生との体験交流 など	子育て家庭交流、 中高生との体験交流 など		
財源 内訳	国庫支出金	0	0	450	450	0	0	0
	県支出金	0	0	800	875	800	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	2,150	0	0
	一般財源	0	0	1,850	1,775	0	0	0
事業費 (A)		0	0	3,100	3,100	2,950	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	105.08				
内 訳	職員 (人)	0.00	0.00	6.75	6.75	6.75	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	56,640	56,640	56,640	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	59,740	59,740	59,590	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input checked="" type="checkbox"/> 現状の規模で継続 <input type="checkbox"/> 拡大して継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 他事業と統合	
<判断理由> 子育て家庭交流、中高生との体験交流、世代間交流などを積極的に実施し、更に交流事業数の増加を図る。	
平成21年度 of 取組方針	
各種交流事業への参加者数の増加を図る。	
課長コメント	今後も保育所の持つ地域性を活用し、子育て家庭交流や世代間交流等を積極的に実施し、児童の思いやりを持つ心や社会性を養い、生きる力を培っていく。